

## **特別教養（1）ミュージアム・スタディーズ概論**

現代のミュージアムは、コレクションをし、展示をする空間にとどまらず、さまざまな問題を可視化したり発信したりする役割も担っています。ミュージアム・スタディーズとは、さまざまな分野の知見に基づき、ミュージアムのあり方やその社会とのかかわりを批判的に考える新しい領域です。この授業では入門的な概論として、ミュージアムやコレクションの歴史、ミュージアムとアイデンティティの表象、モノと人の関わりなどについて包括的に学びます。

### **【授業の目的】**

ミュージアムと社会との関係を学ぶことによって、私たちは異なる文化的背景や考え方もつ他者との関わりや、私たち自身について考えることができます。この授業では、展示やミュージアムを批判的に考え、ミュージアムにおいて、モノを媒介として自己／他者をよりよく表現できるアイデアを提案できるようになることを目指しています。

### **【2023年度の授業の内容】**

1. オリエンテーション
2. ミュージアムのしくみ（組織や業務）
3. みるワークショップ
4. 視覚について
5. ミュージアムの歴史（1）：驚異の部屋
6. ミュージアムの歴史（2）：コレクション
7. 博覧会とミュージアム（1）：ロンドン万博
8. 博覧会と万博（2）：シカゴ万博
9. モノ・ワークショップ
10. 論争的な展示／展示の政治学（1）
11. 論争的な展示／展示の政治学（2）
12. ミュージアムとジェンダー
13. 資金と展示
14. まとめ

第9回の「モノ・ワークショップ」では「モノ」をテーマとするワークショップを行いました。受講生が自分が大切にしているモノ1点に関する課題（A4の上半分にモノの写真を入れ、下半分になぜそれを大切にしているのか、どのようにしてそれを入手したのかなどモノの由来を記述する課題）と、各自の基準で選んだモノ10点のリスト（モノとそれに関する簡単な説明を1点につき1行にまとめた課題）を名前がわからない状態で提出して交換し、モ

ノの情報に基づいて持ち主について考察します。この作業を通じて、「モノを通して人を知る」ことを体験しました。